

そんけい すべき ムスリム の みなさま！

ぜんこの アッラー (スバーナ ワ タアラー) は、にんげん を もっとも すぐれた すがた に そうぞう しました。アッラー (スバーナ ワ タアラー) の ただしい みち を しめす ために、みちびきの ための しや を わりあて、しんせい な けいてん を くださいました。せかい への じひ として つかわされた わたしたち の よげんしゃ ムハンマド・ムスタファ (かれ の うえ に しゅくふく と へいあん あれ) は、よげんしゃ の くさり における さいご の わ に あたります。よげんしゃ アーダム (かれ の うえ に へいあん あれ) から はじまる けいじ は、よげんしゃ (かれ の うえ に しゅくふく と へいあん あれ) に くださった こうき な クルアーン を もって かんせい しました。

しんあい なる ムスリム の みなさま！

わたしたち の じんせい における きじゅん と なり、もっとも すぐれた もはん と なる のは よげんしゃ ムハンマド (かれ の うえ に しゅくふく と へいあん あれ) だけ です。わたしたち の しんこう には、かれ (かれ の うえ に しゅくふく と へいあん あれ) を しんじ、したがう ことが もとめられます。せいかつ の なか で アッラー の しと (かれ の うえ に しゅくふく と へいあん あれ) の スナ を じっせん することは、アッラー (スバーナ ワ タアラー) への あい の しるし です。それは アッラー (スバーナ ワ タアラー) の ごしょうにん と じひ を える きかい と なります。クルアーン には、つぎ の ように しるされています。

「[ムハンマドよ、]いいなさい。『もし あなたがた が アッラー を あいする なら、わたし に したがう なさい。アッラー は あなたがた を あいし、あなたがた の つみ を ゆるす だろう』。アッラー は もっとも よく ゆるし、もっとも じひぶかい」。¹

しんあい なる しんこうしゃ の みなさま！

わたしたち の めいりょう な しゅうきょう である イスラーム の、クルアーン に つづく だいに の てんきよ に あたる のが スナ です。「スナ」とは、わたしたち の よげんしゃ の もはんてき な せいかつ、こうどう や ことば を さします。アッラー の しと (かれ の うえ に しゅくふく と へいあん あれ) は、クルアーン が しめす しんじつ を、みずからの ことば や こうい を とおして ときあかしました。かれ の スナ は クルアーン の りかい を たすけ、また かれ の もはん には それ が はんえい されています。クルアーン は しんこう を もつよう めいじ、スナ は しんこう を かんせい させる ほうほう を しめしている のです。クルアーン は すうはい、れいはい、さいかい、じゅんれい、きしゃ を めいじ、スナ は それら を どう じっせん するか を おしえて います。クルアーン は ぜんりょう な どうとく を めいじ、スナ は まもるべき りんりの すぐれた れい を しめしている のです。

しんあい なる しんこうしゃ の みなさま！

げんだいの わたしたち は、これまで いじょう に クルアーン と スナ の みちびき を ひつよう と して います。ですから、しんじつ の みち への みちびき である クルアーン を しっかりと うけいれ、あいすべき よげんしゃ の スナ を みちあんないと しましょう。ほか の どのような ちしき よりも、クルアーン と スナ を ゆうせん させましょう。わたしたち に とり、きゅうさい の しょほうせん は クルアーン と スナ であることを わすれない ように しましょう。クルアーン と スナ から ひらめき を えて、イスラームぶんめいの さいけん に つとめ ましょう。

¹ Al-i 'Imran, 3/31.